

備える

設楽町は、愛知県の北東部に広がる三河山間地域の中央に位置し、名古屋市中心部から約90km、豊橋市及び豊田市の中心部から約55kmから60kmの距離にあり、東は東栄町、豊根村、西は豊田市、南は新城市、北は長野県根羽村と隣接しています。東西約22.4km、南北約19.7km、総面積273.94km²あり、総面積の約9割を占める山林は、1,000m級の山々が連なり、豊川、矢作川、天竜川の上流域となっています。

こうした豊かな自然に囲まれた私たちの住む地域は、一方では、土砂災害の被害も懸念されています。

また、南海トラフ地震が近年発生する可能性も指摘されています。これらの災害が発生した場合でも、日頃の備えにより被害を最小限に抑えることができます。

目次

- 防災ガイドブックの活用—— 1
- 土砂災害について —— 2
- 防災マップ（索引図）—— 3
- 防災マップ（名倉地域）—— 4～12
- 防災マップ（田口地域）—— 13～24
- 防災マップ（清嶺地域）—— 25～36
- 防災マップ（津具地域）—— 37～46
- 大雨通行規制路線図 —— 47～48
- 設楽町避難所一覧 —— 49～50
- 避難について —— 51～52
- 地域の防災 —— 53
- 防災情報の入手方法 —— 54
- 豪雨時に取るべき行動 —— 55～56
- 地震について —— 57
- 地震への備えと行動 —— 58

防災ガイドブックの活用

土砂災害のおそれがある場所（土砂災害警戒区域、土砂災害発生箇所）等を掲載しています。

1 自分の家の位置を確認しましょう。

- ・ 防災マップで自宅の位置を確認し、印をつけましょう。
- ・ 自分の家や周辺にどのような土砂災害の危険があるか知っておきましょう。

2 避難場所等を確認しましょう。

- ・ 防災マップで自分の家から近い避難場所等を確認しておきましょう。
- ・ 万一途中で家族が離ればなれになった時のために、事前に集合場所を決めておきましょう。

3 避難場所等までの道のりを確認しましょう。

- ・ 実際に避難場所等まで歩いてみて、安全な避難ルートを確認しておきましょう。
- ・ ルート沿いの危険箇所を調べておきましょう。
- ・ できれば、自主防災組織で情報を出し合いながら、避難ルートを考えましょう。

4 安全・確実に避難する方法を理解しておきましょう。

- ・ 避難の心得（P51参照）をよく理解して、いざという時に安全に避難できるようにしましょう。
- ・ 防災情報の入手方法（P54参照）を確認しておきましょう。
- ・ 豪雨時に取るべき行動（P55～56参照）を確認しておきましょう。

設楽町には、土砂災害防止法 土砂災害警戒区域等 市町村別指定箇所が

508箇所あります。

急傾斜地の崩壊

303箇所

土石流

198箇所

地すべり

7箇所

令和3年6月29日現在